

学習発表会をリニューアルします

未来の社会で子どもたちが生き生きと活躍できるための取り組みに！

峰山小学校長 竹本 茂



10年後
の
未来

10年後の社会は、どうなっているのでしょうか。

きっと、今よりもっとグローバル化や情報化、技術革新が進む一方、持続可能な社会をつくることがさらに大きな課題になっていることでしょう。そんな社会で必要となるのは、知識や技能だけではなく、自ら考え判断し、自分の考えを伝え、多様な人々と協働して新しい価値や知恵を生み出す力だと言われています。

こんな未来に生きる子どもたちに、どのような教育を進めていけばいいか、そのことを峰山小学校はいつも考えてきました。そして、「**子どもたちが将来、社会の中で自立し、自分らしく活躍するための力をつける教育を進めること**」を最大の目標にしてきました。

この目標を実現するため、峰山小学校では多くの行事や取り組みをリニューアルしています。例えば、

- 運動会を「にこにこフェスティバル」に
- マラソン大会を「チャレンジ・ランニング」に
- 毎日の掃除を、異年齢の活動「みんななかよくキレイ・キレイ」に



などです。

今、どんな力を身につければいいのか、そのためにはどんな行事や取り組みにしていけばいいのか、そのことを教職員も、子どもたちも、真剣に考えた結果でした。

これらの行事や取り組みでは、「だれもが楽しめる」「もっと仲よくなる」を目標にして、子どもたちが自分たちで考え、企画し、自ら実行していきました。また、「一人一人は違う」ことを認め合い、一人一人が目標をつくること、目標に向かう一人一人のがんばりを皆で応援し合うことを大切にしてきました。



今、子どもたちは、自分たちで考えて実行していけることに手ごたえを感じ、自らの力で自分たちの学校をつくっていこうとしています。互いの違いを認め合い、誰もが幸せに過ごせる学校にしたいと考えています。高学年だけではなくありません。低学年の子どもたちもまた、自ら挑戦し、協働してやりとげる力をとても伸ばしています。

わたしたち教職員も、このような子どもたちの姿をすばらしいと思い、誇りにも感じ、全力で応援したいと願っています。

峰山小学校では、このような学校づくりを進めていく中で、「学習発表会」もさらに子どもたちの力を伸ばす取り組みに変えていけないかと考えました。

もちろん、これまでの学習発表会も素晴らしい取り組みでした。保護者・地域の皆様に子どもたちの学習成果を見ていただく、絶好の機会でもありました。発表会での子どもたちの姿に、大きな評価をいただけてきました。

このような意義ある学習発表会ですが、**未来の社会で生きていく子どもたちにとって今までどおりの発表会でいいのか**、私たち教職員は本当に長い時間をかけて話し合いました。そして、にこにこフェスティバルやチャレンジ・ランニングなどでつけてきた力を生かし、**全校の子どもたちが自らつくり、自ら活動する取り組みに変えていくことにしました。**

いきいきフェスティバル（仮称）です。

このフェスティバルでは、**遊び・発表・展示など、様々なコーナーを子どもたちがつくり、みんなで交流します。どんなコーナーをつくるのか、どんな活動をするのかはすべて、実行委員会をつくって子どもたちが考えます。また、自分を取り組みたいコーナーに学年をこえて集まり、異年齢で活動します。**できる限り、子どもたちに任せていきたいと考えています。

そして、この取り組みを進めながら、子どもたちには**「全校の皆を楽しませる」ために知恵を絞り、自ら挑戦し、互いに理解し合い、協働して問題を解決しながらやりとげる、そんな力をもっと伸ばしてほしい**と願っています。



4月にお配りした「峰小ガイドブック」で、「子どもたちが自分たちの力で挑戦し、自らやりとげることを最も重視しています。見栄えや目新しさなどを求める活動はしていません。保護者様から見ると分かりにくいこともあるかもしれませんが、子どもたちが自主的に活動して力を発揮している姿を応援してください」とお願いをさせていただきました。

「いきいきフェスティバル（仮称）」は初めての取り組みですので、うまくいかないことも多いかと思いますが、子どもたちの挑戦を温かく見守っていただければ幸いです。



学校は、「子どもたちの未来をつくる場所」だと思います。学習発表会に対する保護者の皆様の期待は重く受け止めながらも、峰山小学校は、**未来に生きる子どもたちのために「これから必要とされる教育」に一步を踏み出したい**と考えています。皆様のご理解とご協力を、何とぞお願い申し上げます。

なお、フェスティバルは、学習発表会を予定していた

11月4日（金）に実施します。保護者・地域の皆様にも参観をご案内します。子どもたちと共に楽しんでいただければと思います。